

総合計画意見交換会 での皆さんの声

6月23日から25日まで3日間にわたり、中央公民館、浅羽会館、月見の里学遊館で「総合計画についての意見交換会」を開催しました。

市民の皆さん約650人が出席。市から総合計画基本構想の「まちの将来像」「まちづくりの基本目標」を説明した後、まちづくり重点プロジェクトや基本計画について意見交換を行いました。まちの将来像やまちづくりの基本目標についての意見や提言を紹介します。

☎ 企画政策課企画係 ☎ 44-3105



まちの将来像について

「日本一」の意気込みは分かるが、健康や文化などは日本一を計ることができるものではないと思う。

健康はみんなが望むものであって、健康を目指しても、病気になる人もいる。障害のある人や病気になる人への配慮がほしい。

健康づくりを進めて、健康で元気に暮らすことができるまちづくりを進めてほしい。

健康文化都市として、歩行喫煙を禁止してほしい。

まちづくりの基本目標について

みんなが健康で安心して暮らせる住みよいまち「安心・安全・快適」

治水問題は、早急に進めてほしい。

防災マップを見たら、震度が高い危険地域の建物が避難所となっていたが、他の施設へ変更できないか。

電柱は、地震時に倒れて、道路を寸断したり、家屋に損害を与えたりする危険性がある。上下水道とともに、電線や通信設備を埋設したらどうか。

車優先の道路ばかりで、歩行者や自転車への配慮がない。歩道整備をまず行っしてほしい。学校付近の道路については特段の配慮がほしい。

公共下水道の整備率・普及率は、文化水準の目安ともなる。下水道整備にどれくらい時間がかかるのか、長期的な目安を示してほしい。



駅南周辺整備については、大きな道路、公園は不要だと思う。

浅羽海岸は、美しかった海岸の面影がなくなっている。浅羽海岸の浸食問題は、佐久間ダムが影響していると言われている。市だけでなく近隣の市町や県の協力も必要である。

海岸の砂防林は、松でないといけないのか。ブナやナラなどではどうか。

自然環境問題として、小笠山の環境、ささゆりなどの季節の草花の保護についても目を向けてほしい。

地域の健康リーダーを養成し、ウォーキングの回数を増やして、毎週市内のどこかで開催しているくらいにしたい。地域を見て回れるウォーキングも実施してほしい。

警察署の設置はいつごろか。市民の安心・安全のためにも、早急に設置してほしい。

市民病院は、費用を掛けて耐震工事をしたばかりで、大きな駐車場も整備している。本当に立て替えが必要なのか。

まちの将来像

人も自然も美しく 活力あふれる
日本一健康文化都市

まちづくりの基本目標

みんなが健康で
安心して暮らせる 住みよいまち

未来を拓く心ゆたかな人と
活力ある産業が支える にぎわいのまち

ともに支え合い力を合わせて
地域の発展につくすまち

<まちづくり重点プロジェクト>

まちづくりの基本構想(まちの将来像と基本目標)を実現するために、重点的に取り組むプロジェクトです。

- 1 いきいき爽快人生支援プロジェクト
- 2 子育て安心プロジェクト
- 3 いつでも安心・安全プロジェクト
- 4 ふるさと創生プロジェクト
- 5 にぎわい交流プロジェクト
- 6 元気な産業づくりプロジェクト
- 7 次代を担う人材育成プロジェクト

<総合計画前期基本計画の政策>

平成18~22年の5年間、次の政策に沿った施策や事業を展開します。

- 1 生涯にわたって健康な市民を育むまちづくり
- 2 互いを認め合い尊重する共生のまちづくり
- 3 災害に強いまちづくり
- 4 安心して暮らせるまちづくり
- 5 利便性が高く快適に暮らせるまちづくり
- 6 人と自然にやさしい環境を育むまちづくり
- 7 多彩な産業が織りなす活力あふれるまちづくり
- 8 将来を担う人間性ゆたかな人を育むまちづくり
- 9 市民の生きがいを育むまちづくり

ご意見お待ちしております

これからのまちづくりについて、ご提言・ご意見などをお寄せください。

はがき 〒437-8666
袋井市役所企画政策課企画係
Eメール
sogo@city.fukuroi.shizuoka.jp
FAX 43-2131

「市民と行政が一体となって」という部分で、施策ニーズ調査やタウンミーティングなどを行ってきたが、どの程度意見が反映されているのか。実効性のある計画にしてほしい。

その他

ともに支え合い力を合わせて地域の発展につくすまち「市民の力、地域の力」地域交流プラザについて、どのような施設になるのか、早く示してほしい。施設管理やイベント開催には、もっと市民パワーを活用し、市民活動を盛り上げていくべきだと思つ。ボランティアとして環境問題に取り組んでいる。行政からも支援してほしい。



未来を拓く心ゆたかな人と活力ある産業が支えるにぎわいのあるまち「人づくり、産業づくり」

少子高齢化の取り組みは少しずつ進んでいると思つが、独身者が多い事が少子化につながっていると思つ。結婚に対する支援も活発に行つてほしい。放課後児童クラブと保育所の閉所時間が異なつている。子育てと仕事の支援のためにも放課後児童クラブの時間延長を考へてほしい。

「活力あふれる」には、農業の振興や人の交流が図られ、市の収入が確保されなければできない。産業振興に力を入れて、増収を図つてほしい。

にぎわい、多くの人が訪れるためには、もっと公衆トイレが必要だと思つ。



まちの将来像を語る原田市長

大規模商業施設の話があるが、市民にとって、毎日の買い物に便利であることが大切である。大規模商業施設ができることによる周辺への影響について充分配慮してほしい。

運動場の散水設備や植栽など、学校施設の整備・充実が近隣市と比べて遅れているように思つ。